

特定非営利活動法人

わいわいポケット

〒918-8027 福井県福井市福町 28-49

Tel : 0776-34-8112 Fax : 0776-34-8113

E-mail : waiwai_palette@marble.ocn.ne.jp

<http://www.waiwai-p.com>

発行責任者 理事 吉本 陽子

10周年記念誌

特定非営利活動法人 わいわいポケット

目 次

・ 理事長あいさつ 特定非営利活動法人わいわいポケット 理事長 中村 和己	2
・ 祝辞 福井市長 東村 新一 様	3
・ 法人沿革・事業所紹介	4～5
・ 理事あいさつ 特定非営利活動法人わいわいポケット 理事 山形 晴美 特定非営利活動法人わいわいポケット 理事 吉本 陽子	6 7
・ 祝辞 元福井養護学校長 岩本 日出男 様 児童クラブ「パレット」 スタッフ 馬場 千代子	8 9
・ 利用者の皆さんからのメッセージ	10～11
・ 祝辞 保護者 佐藤 啓二 様 保護者 田邊 雪子 様	12 13
・ あとがき	13



設立10周年を迎えて

特定非営利活動法人 わいわいポケット
理事長 中 村 和 己

桜の便りが次々に聞かれ、春風が心地よいこの頃、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、当法人わいわいポケットは、平成17年秋、特定非営利活動法人（NPO法人）となり、平成19年4月には、当時の市長、亡き坂川優氏を迎えて、地域活動支援センターの開所式を行い、平成22年には就労継続支援B型事業を開始し、平成24年には、相談支援事業、平成25年には共同生活援助事業としてグループホームぼてとを開設、その運営に携わる10年でありました。

その間、行政のご理解を得て、各関係者の皆様にもご支援を賜りました。

そして何より、良きスタッフに恵まれたこと、多くの利用者に囲まれ、ひとつひとつ手作りで行われてきた共同作業であることに、大きな喜びを感じ、感謝する次第です。

また今日に至るまで、どのように運営して行こうかと試行錯誤の日々ではありましたが、二人の理事が、共に夢を語り合い、陰になり日向になり、強い後押しで、わいわいポケットを支えてくださいました。本当に心から感謝いたします。

この10年、長くもあり、短くもある年月を、皆様と共に過ごすことができましたことは、私自身の誇りであり、宝であります。

これからも、障害のある方たちの声に耳をかたむけ、一步一步、歩んで行こうと思いますので、今後も変らぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

10年の節目に、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、心から感謝申し上げますとともに、厚く御礼申し上げます。



特定非営利活動法人わいわいポケット

法人設立10周年によせて

福井市長 東村 新一

特定非営利活動法人わいわいポケットが記念すべき法人設立10周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

わいわいポケットにおかれましては、平成17年に法人が設立され、平成18年10月からは日中一時支援事業を開始し、その後も障がい児者の福祉向上につながる事業を次々と展開され、本市の福祉行政に大きく貢献していただいております。

この度、めでたく設立10周年を迎えられたことは、ひとえに役職員の皆様方の熱意と努力の賜物であり、心より敬意と感謝の意を表す次第です。

さて、福井市では平成27年度から平成32年度を計画期間とする「第3次福井市障がい者福祉基本計画」を「障がいのある人もない人も互いを認め合い ともに生きるまちづくり」という基本理念のもとに策定いたしました。

障がいのある人もない人もお互いの個性を認め合い尊重し、それぞれの役割と責任を持ってともに社会の一員として、身近な地域で生活を支えあうことができる共生社会の実現を目指します。

わいわいポケットでは、「ノーマライゼーションの実現に寄与する」を法人の目的として掲げられており、この目的は本市の目指す方向性とも一致しており、この実現は非常に重要なものになります。

今回、記念すべき10周年を契機とされ、障がい福祉の充実をより一層お願いするとともに、培われてきた経験や実績をもとに、今後とも本市の障がい福祉の推進にご理解とご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、わいわいポケットの今後ますますのご発展を心からお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。



事業所正面玄関

- 平成 7 年 4 月 小規模作業所「城山クラブ」を福井市南居町に設立
- 平成 13 年 4 月 児童クラブ「パレット」設立
- 平成 17 年 9 月 特定非営利活動法人わいわいポケット設立（福町に移転）
- 平成 18 年 10 月 日中一時支援事業開始
- 平成 19 年 4 月 地域活動支援センター事業開始
- 平成 22 年 10 月 就労継続支援 B 型事業開始
お菓子工房「すまいる」開設
- 平成 24 年 2 月 障害者自立支援基盤整備事業の補助を受け、作業所を増築
- 平成 24 年 4 月 相談支援事業開始
- 平成 25 年 12 月 共同生活援助事業開始（グループホームぽてと）



グループホームぽてと

障害福祉サービス事業

・就労継続支援 B 型事業(定員 20 名)

通常の事業所に雇用されることが困難な就労経験のある障害のある方などに対し、生産活動などの機会の提供、知識および能力の向上のために必要な訓練などを行います。

わいわいポケットではリサイクル作業（パソコン解体・金属の分別・糸の分別）、清掃作業（マンションや事業所の清掃）、通販商品の検品作業、除草作業（庭や公園の除草）、菓子製造作業（お菓子工房「すまいる」：ロールケーキやアレルギー対応の雑穀クッキーなどの製造・販売）の作業に取り組んでいます。

・共同生活援助事業（グループホーム ぽてと 定員 7 名）

障害のある方に対して、主に夜間において、共同生活を営む住居で相談、入浴、排せつ及び食事の介護、その他の日常生活上の援助を行います。

・相談支援事業

障害福祉サービスの利用を希望する障害のある方やその保護者からの相談を受け、その心身の状況、置かれている環境、サービスの利用に関する意向、その他の事情を勘案し、利用するサービスの種類や内容を記載した「サービス等利用計画」を作成し、サービス支給決定後の連絡調整やその後の定期的なモニタリングなどを行います。

地域生活支援事業

・地域活動支援センター事業

障害のある方に創作的活動・生産活動の機会を提供することにより、社会との交流を促進し、自立した生活を支援する事業です。

わいわいポケットでは福井市の委託を受け、主にリサイクル作業などの作業活動を通して地域の障がいのある方々の支援を行っています。

・日中一時支援事業（児童クラブ パレット）

日中において一時的に見守り等の支援が必要な障害のある方の日中における活動の場を確保し、その家族の就労支援や一時的な休息を図る事業です。

わいわいポケットでは主に特別支援学校・特別支援学級へ通う児童を対象に放課後の時間や夏季・冬季など長期休暇期間の日中の時間をスタッフと一緒に過ごしてもらい、レクリエーションなどの活動を行っています。



はや十年

理事 山形 晴美

十年前、解体寸前の倉庫を家主の方のご厚意で提供していただき、建材を、建築工事を、電気設備を、と、さまざまな方々のご厚意で、何とか作業所の形がととのいました。それがわいわいポケットのはじまりでした。

その後、底抜けに明るく前向きな理事長夫妻を中心にした、このわいわいポケットに優秀なスタッフが加わり、さまざまな利用者の方々との出会いがあり、作業所の改築、グループホームの新設等、立ち止まるひまもないほどのあつというまの十年間でした。

この先、わいわいポケットがどう変わり、どう歩んでいけるか、まだ定かではありませんが、このわいわいポケットに関わられたこと、わいわいポケットのみんなに出会え、共に歩んでいけることを心から誇りに思っています。



開設当初の事業所



10 周年に寄せて

理事 吉本 陽子

特定非営利活動法人「わいわいポケット」が設立され、10 周年を迎えることとなりましたことを心よりお祝い申し上げます。

日頃から関係機関をはじめ多くの方々から賜っておりますご指導、ご理解、ご支援に対しまして心からお礼を申し上げます。

当法人の設立は、国会で「障害者自立支援法」が可決成立した年でもありました。また、「就労継続支援B型事業所」が設立され運営を開始した平成 22 年には、同法律の一部が改正されました。

この後、「特定相談支援事業・障害児相談支援事業」を開始した平成 24 年には、同法律が廃止・改正され「障害者総合支援法」が成立し、「共同生活支援事業：グループホーム ぽてと」の運営が開始された翌 25 年から施行されています。

このようなことから顧みますと、「わいわいポケット」は障がい者福祉の理念と活動に支えられ、各種支援事業に取り組むことができたと考えています。

私個人に限って申し上げれば特に障がい者福祉に造詣が深いことも無く、社会奉仕団体にご縁をいただいていたことが端緒となり「わいわいポケット」の運営にかかわらせていただきました。

10 年の歳月を思い返しますと、「着実に実りのある活動が実践できた。」と感慨も一入でございます。

日々のサービスを利用されている皆様が充実した活動を重ねられ、自立した社会生活に向けて取り組まれている真剣な姿勢を見習いたいと思うのは私だけでは無いと存じます。

障がい者福祉制度が整備されつつあることは紛れもありますが、よりきめ細やかな支援が求められていることも言うに及びません。

私も微力ではございますが、10 周年を契機にさらに精進を重ね、「わいわいポケット」をご利用される皆様方のご期待に応え、より充実した支援に努めたいと存じておりますので、今後とも関係機関、関係者の皆様方のご指導とご鞭撻を切にお願い申し上げます。

十周年を祝して

元福井養護学校長
岩本 日出男

十周年おめでとうございます。

十年一昔といいます。いろんなことに会ったことでしょう。困ったことも多くあったことと思います。振り返ってみることは意義のあることだと思います。人を育てることを職とする者にとって大事なことだと思います。

ここに仏教のことばをお借りした。
五念門といわれる。

- 一、礼拝門
- 一、讃嘆門
- 一、作願門
- 一、観察門
- 一、廻向門

注釈はしないほうが良いが一応ここでは

- 一、敬い、礼拝すること
- 一、徳をたたえ、ほめること
- 一、一心に願うこと
- 一、心に観ずること
- 一、修めたものを他にふり向けること

とし、門というからには入口ということであろう。羅列ではない。

- ・一つ一つを順序よくおさえていけば、自分のやったことで何が不足していたかが見えてくる筈である。
- ・ほめたたえることもしないで、願ってみてもそれは、空虚でしかない。
- ・弁護士長谷川泰造は、脳性マヒの康子ちゃんのことを恩師と呼んで「やすこと歩く、マホロニーへの道」を書いた。
- ・十一年目をスタートさせるにあたり、障害ということのみにとらわれずに一人一人の個性ということにしてみれば新しいものが見えてくる。

「わいわいポケット」設立10周年に寄せて

児童クラブ「パレット」スタッフ 馬場千代子

設立10周年、おめでとうございます。

準備から今日まで、想像もつかないようなご苦労があったのではないかと思います。関係者の皆様の熱意とご努力には頭が下がります。

また、福祉を取り巻く環境が、決して豊かとは言えない中での運営にも、厳しいものがあるのではないかと勝手に想像しています。

しかし、どんな時も、「わいわいポケット」の職員の方々から笑顔とユーモアが消えることはありません。そして、そのことが、利用者の生き生きとした活動を支えているのでしょう。

これが、「わいわいポケット」についての私の印象です。私は、「パレット」でお手伝いをさせていただいています。子供たちと一緒に、バーベキューに参加させてもらったり、その他の活動にも少し関わらせていただいたりしたのですが、そこには、いつも、笑顔と元気な声があふれ、穏やかで楽しい時間が流れていました。

「久しぶりに来たけど、わいわいさんは、職員がかわらないね。昔と同じ人が何人もいて、ほっとした。普通は、職員の入れ替わりが早いけど、わいわいさんはすごいね。」

これは、元養護学校の先生が、久しぶりに来てくださった時におっしゃっていたことです。この方は、10年ほど前に「パレット」のお手伝いをしたことがあるそうです。

そう言えば、私自身も、偶然、ボランティアの募集を知り、お手伝いさせていただくようになってから、あっという間に6年近くが過ぎてしまいました。とても居心地がよかったのだなあと改めて思います。利用者とその保護者に寄り添い、笑顔とユーモアを絶やさない職員の方々の姿勢に学びながら、何とかやってこられました。そして、ゆっくりだけれど成長していく子供たちと一緒に過ごせることも、他では得られない喜びです。有難いかと感謝しています。

最近、新聞やテレビで、「難民」「テロ」「戦争」・・・というような言葉を目にすることが多くなってきました。そのたびに心配になるのです。戦争になったり、社会が不安定になったりしたら、真っ先に辛い思いをするのは、子供たちや「わいわいポケット」の利用者のような人たちではないかと・・・。

弱い立場の人たちが安心して生活できるように、平和で安定した社会が続くことを切に願うとともに、これからも「わいわいポケット」が地域に根差したあったかい法人として輝き続けることを信じています。

10周年にあたり、「わいわいポケット」の益々のご発展を祈念いたします。

10周年 おめでとう！

楽しく作業にできるように
安本 優

はごとをかんがえる
内 幸子

お市

楽しいっばい
吉田 幸子

わいわいポケットの
ごはんとても美味しいです。
仕事 自分に合った
楽しいです。
谷口 中か

わいわいにかよって10年になりました。
にんずうもふえて、しごとをかんがえています。
これまでいたことにおしえていきたいです。
上本 良一

わいわいポケットの
10周年 かんがえます。
佐藤 正子

わいわいポケットの仕事が先生から大好きです
山田 康博

わいわいポケットの楽しい
思い出いっぱい
山本 里奈

わいわいの職員は、やさしいです。
反保 聖梨沙

わいわいポケットの
仕事もかんがえてこれ、うれしいです
東 広海

ゆきこ

かいたい（を）元気張りたいです。
F 晃弘

そうじや作業をかんがえます。
ごいみがおいしいです。
佐藤 昂

わいわいポケット
イナユネ 友来

いろんな洋服が
たくさん見れて
たたんでいて
とても楽しいです。
浜川 宏美

おめでとう

過
つ
り
し
や
す
く
穏
や
か
な
所
で
す
川
畑
拓
也

系とりもかんがえます。
小谷 さかえ

作業 元気
わいわいポケットが
みんな
阿部 大志也

わいわい
たのしい
みん
さん

型ぬきしたい
ロールケーキつくりたい
ラッピングスキルがほしい
石井 裕美
生地つくりたい
先生から
有藤 優子

仕事もやりがいあって楽しいけど
みんなといろんな所に旅行に行ったり
お花見やバーベキューをしたりするわいわいポケットで
働けて良かったです。浜川 奈津美

しょうらいしめよくしたいです
堀江 友太郎

わいわいポケットもグループホーム（ほてい）も
行事ごとが 多くて 楽しいです。
森 真治

みんなかあで 楽しくかんがろう



安田 琴美

今年は、1年のふかえの始、の 増お祝い
岩崎 友香

イトヒきの
しごと
たのしいです
とんとんと
がんばります
またまたかこ



わいわいポケット利用者の皆さん

祝辞

設立10周年に寄せて

保護者 佐藤 啓二

設立10周年、おめでとうございます。

これまで、わいわいポケットの運営に携われてこられた役職員の皆様、関係者の皆様方の情熱とご尽力に心から敬意を表します。また、息子が日頃よりお世話になっていること深く感謝申し上げます。

息子が、わいわいポケットにお世話になって、早、5年が経過しました。特別支援学校3年時に、卒業後の進路を踏まえて実習に行かせていただいたのが始まりです。

実は、実習期間中、家内が事業所を見学しまして、わいわいポケットの利用を強く希望しました。方針がしっかりしていて、雰囲気良く、職員さんも熱心で、息子を安心して預けられる信頼感があったことが第一の理由でした。

5年経過した今でも、この信頼は一分も揺らいでおりません。今だかつて自ら休むと言ったことがなく、毎日、元気に事業所に通っていること、また、私の知るところ知らないところでご苦労をおかけしていることと思いますが、安定した支援を継続してくださっていることがその証です。

昨今、わいわいポケットの標榜を後追いするように、平成24年6月には、地域社会における共生の実現に向けて障害者総合支援法が成立し、また、平成25年6月には、障がいの有無に関わらず、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指す障害者差別解消法が成立されました。

福祉制度の変遷は、今後も続くものと思われませんが、わいわいポケットの事業が連綿と紡がれていくことが私どもの安心であり、息子も、苦楽を共にするなかまと自立の厳しさや楽しさを積み重ねていくことで、実り多き人生を歩んでいけるものと思っています。

平坦な道のりではないとご拝察しますが、これからも、わいわいポケットが、利用者にとって、またそのご家族にとって、地域にとって、かけがえのない法人であり続けることを願います。

結びに、私は、「わいわいポケット」という法人名称が大変好きです。謂れは存じ上げませんが、「楽しい」、「温かい」、「集う」、「希望」といった連想が浮かび上がる素晴らしい名称だと思います。

10年を契機に、今後益々のご発展を祈念いたします。

10周年に寄せて

保護者 田邊雪子

この度は、わいわいポケット開設10周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。我が家の長男 晃一は小学部1年よりお世話になっているので、7年目になります。7年前、放課後を過ごす場所を探していて初めてお伺いしたのがわいわいポケットさんでした。当時、社会資源や放課後デイサービスなどについて何も知らず、何をしたらよいか不安が先立っていた私に、職員さんがとても丁寧にわかりやすく説明してくださり、安心したのを覚えております。晃一は職員さん達にすぐ馴染んで、それからずっと放課後と夏、冬、春休みにお世話になっています。

考えてみると、放課後や長期休暇中など、「学校に居ない平日の日中」をどう過ごさせるか、とても重要だと思いますが、子供たちの為に有意義な時間となるように様々な企画をして、仲間と一緒に思い出や工作等の体験をさせてくれるわいわいポケットさんには、本当に感謝しています。これからも親子ともどもどうぞよろしくお願いいたします。わいわいポケットさんの今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

あとがき

利用者・保護者の方々をはじめ各関係者・各関係機関の皆様、そして地域の多くの方々に支えられ、この度10周年を迎えることができましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

私達わいわいポケットスタッフ一同、この節目を機にこれまでの歩みを振り返り、積み重ねてきた成果や課題を糧とし、より充実した支援を行っていきけるよう精進して参ります。

今後とも変わらぬご理解、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

また、この度の記念誌の発行に際しまして、お忙しい中、原稿をお寄せいただいた方々に心から御礼申し上げます。

職員 草壁



わいわいポケットスタッフ一同